

令和6年度  
事業計画

社会福祉法人 東桜会

《社会福祉法人東桜会の理念等》

〔法人の目的〕

私たちは、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として事業を行います。

〔施設運営理念〕

法人の目的を達成するため、公平で公正な開かれた施設運営を永续し、地域の拠点施設となるように努めるとともに地域福祉の向上に資するよう努めます。

〔施設運営方針〕

利用者の多様なニーズに応えられる職員を育成し、利用者が、生きがいを持ち明るく快適な生活ができる住環境の整備に努めます。

〔サービス提供理念〕

利用者一人ひとりのニーズと意思を尊重した質の高いサービスを提供し、利用者の生活の質の向上を目指すとともに、利用者の自立を目指し、利用者と共に生き、利用者の回復を目指します。

〔サービス提供方針〕

サービスの利用を希望する人たちが、利用者自らが受けられるサービスを選択し決定できる環境を作るとともに、利用者の残存能力を発見し、引き出し、活用ができるような環境を作ることに努めます。

## 《社会福祉法人東桜会》

### 〔1〕基本方針

1. 法人・施設の中・長期計画の策定に取り掛かる。
2. 法人の理念、施設運営方針等について再確認し、表現方法等を検討する。
3. 働きやすい職場環境を目指し、職員の採用、定着に努める。
4. 地域に存する社会福祉法人として、地域の様々な団体組織・人々と連携して地域に貢献する。

### 〔2〕経営施設及び事業の種類

1. 指定を受けた介護保険事業（介護予防・日常生活支援総合事業を含む）を経営する
  - (1)介護老人福祉施設 麻機園
  - (2)短期入所生活介護事業 麻機園
  - (3)地域密着型通所介護事業 麻機園デイサービスセンター
  - (4)訪問介護事業 麻機園ヘルパーステーション
  - (5)居宅介護支援事業 麻機園ケアプランサービス
2. 社会福祉事業として次の事業を行う
  - (1)軽費老人ホーム ケアハウス桜花
3. 静岡市から委託を受けて次の事業を行う
  - (1)要支援、要介護認定の訪問調査（麻機園ケアプランサービス）
  - (2)静岡市高齢者一時保護施設確保事業（短期入所麻機園）
4. 地域包括支援センターから委託を受けて次の事業を行う
  - (1)介護予防ケアマネジメント業務

### 〔3〕地域社会に貢献する取組み・地域交流等

地域連携担当職員を配置し、法人が地域社会に貢献する取組みの業務を担わせる。新型コロナウイルス感染症に充分留意し、施設を開放した地域住民へのサービスや、地域の団体組織・人々と連携して地域に貢献し、福祉の向上を目指す。また、地域の民生委員や地区社協、放課後こども教室実行委員会等と連携するなどして、地域住民と子どもたちの活動の機会が持てるようにサポートする。

### 〔4〕監事監査、理事会、評議員会等の開催予定

- |            |     |                               |
|------------|-----|-------------------------------|
| ①監事監査      | 5月  | 令和5年度事務事業及び決算の審査              |
| ②第1回理事会    | 5月  | 令和5年度事業報告、決算及び定時評議員会の予定他      |
| ③定時評議員会    | 6月  | 令和5年度決算認定他                    |
| ④監事定期監査    | 10月 | 令和6年度定期監査                     |
| ⑤第2回理事会    | 11月 | 事務事業の報告等、令和6年度補正予算 ※補正予算がある場合 |
| ⑥第1回臨時評議員会 | 11月 | 令和6年度補正予算承認 ※補正予算がある場合        |
| ⑦第3回理事会    | 3月  | 令和6年度補正予算及び令和7年度事業計画及び予算他     |
| ⑧第2回臨時評議員会 | 3月  | 令和6年度補正予算及び令和7年度事業計画及び予算承認他   |

※予算又は事業計画等に係る議題のあるときには、臨時に理事会、評議員会を開催する。

## 〔5〕建物・設備の修繕・改修等の予定

麻機園及びケアハウス桜花の建物本体及び付属設備、設備・備品等の経年劣化の著しい箇所について大規模な修繕又は改修等を計画・予定するとともに、職員の業務軽減に資する設備・用具等の導入を検討する。

### 1. 特別養護老人ホーム麻機園

- ①ダムウエータ改修修繕
- ②居室網戸、外構フェンス等の改修取替
- ③業務の効率化・業務負担の軽減化の為、利用者見守り機器・ICTの導入
- ④空調設備更新修繕等
- ⑤電話設備更新
- ⑥感染症対策に係る設備等の改善・導入

### 2. ケアハウス桜花

- ①建物周囲地盤沈下への対応（正面玄関・裏玄関段差解消、および埋設配管の修繕）
- ②電気使用量等集中監視装置更新、電話課金装置の更新
- ③業務の効率化・業務負担軽減化に向けたICTの導入
- ④感染症対策に係る設備等の改善・導入

## 〔6〕施設職員関係の会議・委員会・研修

### 1. 定期的に会議を開催する

#### (1) 全体会議・委員会

- ①職員会議（第3火）
- ②部門連絡会（第2水）
- ③在宅利用連絡会（第3火）
- ④感染症対策委員会（4、7、10、1月）
- ⑤身体拘束廃止委員会（5、8、11、2月）
- ⑥虐待防止委員会（5、11月）
- ⑦事故防止委員会（6、9、12、3月）
- ⑧厚生委員会
- ⑨研修委員会
- ⑩広報委員会
- ⑪生産性向上にかかる課題を検討する委員会

#### (2) 麻機園

- ①優先入所検討委員会
- ②介護職会議（第4火）
- ③給食会議（第2水）
- ④衛生委員会（第2水）
- ⑤褥瘡予防委員会（4、6、8、10、12、2月）
- ⑥食事委員会（毎月）
- ⑦排泄委員会（毎月）
- ⑧入浴委員会（毎月）
- ⑨事故検討委員会（毎月）
- ⑩行事担当者会議（毎月）
- ⑪リーダー会議
- ⑫パート会議

#### (3) 桜花

- ①桜花会議（毎月）
- ②給食会議（毎月）
- ③感染症予防研修（年2回）

### 2. 職員研修

- ①感染症及び食中毒予防研修（4、9月）
- ②身体拘束適正化研修（4、1月）
- ③高齢者虐待防止研修（4、1月）
- ④業務継続計画（BCP）研修（年2回）
- ⑤土砂災害警戒区域内避難確保計画研修（年2回）
- ⑥介護事故発生防止研修（4月）

### 3. 各種訓練

- ①感染症及び食中毒予防訓練（5、10月）
- ②業務継続計画（BCP）訓練（年2回）
- ③土砂災害警戒区域内避難確保訓練（年2回）
- ④非常災害対策（消防防災）訓練（毎月）

## 《特別養護老人ホーム麻機園》

### 〔1〕基本方針

1. 利用者ご家族の要望に的確に応えられるよう、各職種間の連携を密にする。
2. 利用者への生活援助者としてふさわしい職員になるよう資質の向上に務める。
3. 導入した介護記録システムに習熟し、情報共有等の効率化を図る。
4. 介護保険制度の定める条件を遵守して事業を行う。

### 〔2〕運営

1. 入所率を98%以上に保つ。
  - ①優先入所検討委員会を適宜開催、他特養や老健の相談員、ケアマネジャーと連携し
  - ②情報交換を行う。入所相談では法人の説明だけでなく、制度の説明や相談者に合った
  - ③施設の紹介を行い、老人福祉の相談所としての役割を果たす。
2. 家族説明会を開催する。

家族説明会を開催できない時は、代替として個別に電話や書面等でサービスの変更や制度の変更申請の補助等を行う。

### 〔3〕利用者処遇

#### <相談員>

#### 1. 相談員及び介護支援専門員

(目標1) 入所者と家族が安心して過ごせるように努める。

- ・入所者と家族との繋がりを大切にする。

できる限り対面での面会を継続し、入所者、家族が安心できるように努める。
- ・入所者、家族の希望、意向を伺う機会をつくる。
- ・各フロアに積極的に出向き入所者と話す機会を増やす。

電話連絡時や面会時等、家族の希望や意向を聴くように努める。
- ・入所者の様子を家族へ報告する機会を増やす。

家族説明会を開催できない時は代わりとして個別に電話や書面等でサービスの変更や制度の変更、申請の補助を行う。
- ・定期的に家族へ広報誌や入所者の写真を送る。
- ・入所者、家族の意向をもとに、その人らしく自立した生活を目指す介護計画を作成する。
- ・入所者が車椅子や靴、補助食器、付加食品等、必要としている物を検討し購入する。

(目標2) 職員研修を行う

- ・職員会議、介護職会議を利用し計画的に職員研修を行う。
- ・職員全員が参加できる開催方法とする
- ・職員の知りたいことを研修内容に組み込めるように、職員の意向を聞く機会を設ける。
- ・介護職員と委員会活動を通じて勉強会、体験会を開催する。
- ・外部講師に依頼し施設内研修を行う。

(目標3) 入所率を98%以上に保つ。

- ・優先入所検討委員会を適宜開催する。
- ・他特養相談員、老健相談員、ケアマネジャー等情報交換を行ない連携できるようにする。
- ・入所相談では法人の説明だけでなく、制度の説明や相談者に合った施設の紹介を行い、老人福祉の相談所としての役割を果たす。

(目標4) BCP(事業継続計画)を作成する

- ・必要物品の検討、及び購入を継続する。
- ・自然災害、感染症について研修、訓練を実施する。

#### <機能訓練>

(目標1) 入所者の残存機能の維持・向上を目指し、安全な生活が送れるよう訓練する。

- ・個々の残存機能を把握し、多職種と情報交換を密に行ない、個々に適した目標を設定する。その目標に対して個別機能訓練を実施する。
- ・普段の生活の中で出来ることを増やし、その人らしく自立した日常生活の維持、向上に努める。また生活の場に即した動作の訓練を行なう。
- ・3ヶ月に一度、目標の評価・見直しを行ない入所者又は家族に進捗状況を説明する。

(目標2) 楽しんで生活してもらえるように援助する。

- ・集団機能訓練を1日1回30分間実施し、楽しさ、喜びを伴い、心身の健康や生活の質の向上に努める。
- ・季節を感じてもらうため、毎月季節のカレンダーの塗り絵を行ない居室に掲示する。
- ・行事に積極的に参加しコミュニケーションをとる。感染症の状況によるが、外出の機会を作り日常生活を楽しんでもらえるように援助する。

#### <栄養・給食>

(目標1) 安全で満足感を味わえるような食事を提供する。

- ・旬の食材を取り入れ、季節を感じられる献立や料理を充実させる。
- ・食べる会を毎月実施し、入所者の方々に喜んで頂ける食事を提供する。
- ・嗜好調査を年1回実施し、献立に反映させる。
- ・衛生管理を徹底し、食中毒防止・感染症対策に努める。
- ・デイサービス利用者とおやつ作りを月1回程度実施する。
- ・原材料高騰の為、厨房と連携し、予算内に収まるよう努める。

(目標2) 栄養管理を徹底する。

- ・個々にあった栄養ケア計画書を作成し、定期的に見直しを行い、低栄養予防・改善を図る。
- ・食事摂取量が低下してきた方には、高カロリー食品を取り入れるなど対応していく。
- ・食事介助やミールラウンドを行い、入所者の状態把握に努める。
- ・他職種と情報交換を密にし、利用者に適した食事サービスに努める。

(目標3) 災害時の給食体制を検討する。

- ・備蓄食品の管理、見直しを行い、期限が近い食品は、献立に取り入れる。

#### <看護>

“施設内での生活が安心して快適に過ごせるよう健康面から援助する。”

(目標1) 入所者の健康維持するため、感染予防を意識した看護援助をおこなう。

- ・毎日の手洗い、うがい、建物内の換気を実行するよう喚起し職員へも啓発する。
- ・入所者の健康管理の年間計画を立案し実施する。

(目標2) 個人に応じた自然な看取り看護。

- ・その人らしい穏やかな終末期が過ごせるような環境づくりを他職種と共にしていく。

#### [4] 防災対策・感染症対策

1. 近年多発する土砂災害や水害等に対する備えを充実するために、自然災害に対する職員の防災知識を向上させると共に訓練を行う。避難方法、必要な設備・備品等の整備を行う。
2. 地震、火災時に備え、職員の防災に対する知識を向上させると共に、定期的に訓練を行、設備の使用法の修得、避難誘導技術の向上を目指す。
3. BCP（事業継続計画）を作成する。
  - ・必要物品の検討および購入
  - ・自然災害、感染症についての研修、訓練の実施
4. 新型コロナウイルス感染症に関する様々な情報を収集するとともに、職員の感染症対策に対する知識を向上させる研修・実習を行い、感染症対策用品や備品設備の整備を推し進める。
5. 感染症に関連する通知や制度の変更に関する情報の収集に努め、施設事業の経営に反映する。

### 《ケアハウス桜花》

#### [1] 基本方針

安心して楽しく生きがいのある生活が送れるよう支援する。

#### [2] 運営

(目標1) 安定した入居率の運営を目指す。

- ・年間入居率95%以上を目指し稼働率の向上に努める。
- ・居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、医療機関等の地域連携室等へ訪問し施設の紹介、空き状況など情報提供と営業活動を行う。
- ・町内会、民生委員など地域に施設を知ってもらう機会を設ける。

(目標2) 高齢者の特性に配慮した環境を整備する。

- ・施設内外の設備を確認し必要な修繕を行い、安全に暮らせる環境を整える。

(目標3) 相談機能を充実させる。

- ・入居者からの相談に傾聴・対応し、安心して生活が送れるように努める。
- ・入居相談に対して「この施設に入居してみたい」との印象がもてるような接客を心がける。

#### [3] 入居者処遇

<援助>

(目標1) 健康で可能な限り自立した生活の場づくりをめざす。

- ・入居者が健康や生活上の相談をしやすい環境を作る。
- ・年に1回の健康診査、結核健康診断など受診できるよう情報提供し診断結果を把握する。
- ・服薬内容の把握、かかりつけ医との連携、適切な助言をして疾病予防に努める。
- ・体調の変化がみられる時、早期に受診できるよう支援する。
- ・必要に応じた介護保険サービスや施設サービスを提案し円滑に利用できるように支援する。
- ・家族やサービス事業者等と入居者の近況の生活状況を報告し信頼関係を構築する。

(目標2) 残存機能の維持と余暇活動の援助を行う。

- ・「にじサロン」を継続的に開催し工夫のある余暇活動を提供する。
- ・必要な物品を購入し体操や脳トレなど機能低下を予防する活動を行う。
- ・転倒リスク軽減の為、身体を動かす活動や朝のラジオ体操への参加を促す。
- ・喫茶の開催など毎月1回以上季節感のある行事を企画し入居者間の交流の機会を設ける。
- ・地域交流の機会を作る。
- ・地域で行われる祭りやイベントなどの情報を、入居者に向けて掲示、月刊紙で提供する。

#### <給食>

(目標1) 楽しみながら安全で喜びのあるそして満足していただける食事を提供する。

- ・季節の旬の素材や地元食材を取り入れ、四季の移り変わりを感じてもらう。
- ・歳時記に合わせた行事食等の充実を図り、飽きのこない食事を提供する。
- ・年4回程度、食事会を行い普段と違った雰囲気の中での食事時間を楽しんでもらう。
- ・嗜好調査並びに残食調査を計画的に実施し、入居者個々の嗜好並びに心身にあった栄養のバランスのとれた質の高い食事を提供する。
- ・安全安心な食事提供のため、委託業者との情報交換・相互の提案を含めた連携を徹底する。
- ・食事環境を充実させる。

(目標2) 健康維持できるよう、多職種との連携を図り食生活の充実を図る。

- ・入居者個々の健康診断結果を基にした食事カルテを作成し、摂取状況並びに体重変動などの経過観察を行う。また、入居者からの健康相談(食生活等)に随時対応するなど食事面から入居者個々の健康維持増進を図る。
- ・ポスター等の掲示物を活用し、入居者への健康・栄養に関する知識の普及に努める。
- ・日々の連絡や会議等を利用して情報の交換・共有を徹底する。

(目標3) 災害時の給食体制を強化する。

- ・非常時のメニューに沿った備蓄食品を確保すると共に消費期限の確認をし、在庫管理を行う。

#### [4] 防災対策

1. 地震、火災など災害に備え、職員の防災知識、技術の向上をめざす。
2. 入居者向けに土砂災害など風水害の危険を周知する防災教育を行う。
2. 公助、共助をめざし消防、地域、隣接施設等との協力体制を築いていく。
3. 年2回、夜間発生の大規模地震および火災を想定した避難訓練を実施する。
4. 備蓄品(非常用食品、防災用物品など)の確認・必要物品を購入する。

#### 〔5〕感染症対策

1. 施設内の消毒、換気など感染症予防を徹底する。
2. 入居者に毎朝の体温を報告してもらい発熱、体調変化に留意する。
3. ワクチン接種等が円滑にできるよう手続きなどの援助を行う。
4. 研修等で感染症対策に対する知識を高めるよう努める。
5. 入居者に対して情報提供すると共に、感染症対策に対する知識を向上させる。

#### 〔6〕施設設備

適切な建物・設備等の保守及び修繕を行い、安全で住みよい環境を整える。

→正面玄関・裏玄関段差解消、および付帯設備の修繕を行う予定。

### 《在宅サービス》

#### 〔1〕麻機園ショートステイ

1. 年間を通して稼働率70パーセントを目指す。
  - ・新規（緊急、ロングも含む）の依頼にも敏速に対応し稼働率の向上を目指す。
2. 新規利用時は多くの情報を収集し、また、本人、家族の意向、身体状況について他職種との情報を共有することにより、よいサービスが提供できるようにする。
3. 利用中の状態変化時等は、家族及びケアマネジャーに迅速かつ的確に情報の提供を行うことにより安心して利用できるようにする。
4. 施設内に感染症を持ち込まないように、他事業所の感染状況の把握、利用前の本人及び家族の健康状態をより詳しく収集し、また本人、送迎車両の消毒を行う等感染対策を徹底する。
5. 施設内での感染症発生時は、ケアマネ、家族に現況を報告することにより安心して利用できるようにする。

#### 〔2〕麻機園デイサービスセンター

1. 平均利用者10人を目指します。
2. 感染予防を引き続き継続し、利用者が安心して利用できるようにします。
3. こまめに他事業者を利用者の状況を伝え、新規利用につなげます。
4. 利用者に季節を感じてもらえるような、レクリエーションや、おやつ作りを提供し喜んでもらえるようにします。
5. 看護師と協力し下肢筋力を維持し低下を防ぐ体操を提供していきます。

#### 〔3〕麻機園ヘルパーステーション

（目標1）住み慣れた家で安心して生活ができるよう支援する。

- ・日頃からよく話を聞き、利用者の思いを知ろうとする姿勢をもつ。
- ・安心感を与える挨拶・表情・態度・言葉使いに注意を払う。

- ・報・連・相と情報共有「観察・報告・記録」を徹底する。

(目標2) 健康管理と感染・事故再発防止

- ・ストレスや疲れを解消し体調管理に努める。
- ・感染予防の徹底（手洗い・うがい・体調不良者への防具等）
- ・事故防止（利用者とのコミュニケーション・環境を把握・事業者内情報共有等）

[4] 麻機園ケアプランサービス

(目標1) 地域包括や民生委員と連携し、地域支援を行いながら困っている方の支援を行っていくことができる。

- ・地域包括や民生委員との関係を密にしていく。
- ・地域の行事や地域の介護の勉強会に参加しながら、困っている方の介護相談を行い介護保険の申請が必要な場合は支援していく。

(目標2) 感染予防に努めながら医療や他職種との連携方法を密に行い、利用者が在宅生活を続けることができるよう努める。

- ・検温、消毒等感染予防を徹底する。
- ・医療や他職種との連携を密にし、情報を共有する。
- ・利用者の多様なニーズに対応できるよう自己研摩に努め、幅広い知識をもつ。

(目標3) 地域資源を活用しながら利用者の自立支援を図ることができる。

- ・インフォーマルサービスの活用をプランに盛り込み、利用者が住み慣れた地域と共存していけるよう支援していく。